

池の菖蒲(しよづぶ)についてご存じですか？

4月5月と、殿山の池を見ると、黄色い菖蒲が咲いているのが見えるかと思えます。

この菖蒲、実は「キシヨウブ」といって、日本に昔からある菖蒲とことなり、アヤメの仲間、明治以降にヨーロッパからはいてきた外来植物です。

環境省では、このキシヨウブを「要注意外来生物」の一種であるとして、在来種との競合・駆逐等のおそれがある場所については、積極的な防除または分布拡大の抑制策の検討が望まれることとして警戒を呼びかけています。

この殿山の池も、キシヨウブの拡大著しく、元々植わっていた在来のカキツバタ(紫の花)を駆逐する勢い。さらには、その勢力拡大に伴い、池の水辺を侵食しています。そのため、管理委員会では、定期的に侵食部の刈取りを行っています。

見るには綺麗な花ですが、日本の自然環境を残すためには駆除が必要になります。



キシヨウブ(黄菖蒲)

殿山の池はザリガニやキシヨウブなど、人によって持ち込まれた外来動植物問題を抱えています。この池をきっかけに皆さんも関心をもってみてください。

オタマジャクシの全滅について

今年も、アズマヒキガエル、ヤマアカガエルが産卵をしましたが、残念ながらオタマジャクシはほぼ全滅しました。

原因としては、ザリガニや知識と心無い人によってまかれたパン屑を目当てに来る鴨による捕食が主な原因と考えられます。

この数年、毎年のように卵を産んでは全滅を繰り返しています。ザリガニやパン屑を投げる人がやめない限り、自然環境を維持するのは難しいかもしれません。

【オタマジャクシを採取された方へのお願い】

オタマジャクシを殿山の池から採取した人は、カエルになったらぜひ池に戻してあげてください。

カエルの飼育は、生餌が必要な事もあり、お金も設備もかかり大変です。専門の知識がない場合、無駄に命を奪う事になります。

池の生態系維持のためにご協力ください。

※殿山以外の生き物は、決して池に放さないでください。

殿山いきものがかりでは、捕食される前に卵を採取し、カエルになったら戻す活動をしています。

殿山の「いきもの」ピックアップ！



シロバナタンポポ (キク科タンポポ属)

帰化植物の西洋タンポポが多い中、この白いタンポポは在来種。見つけたら、大切に観察してください。

池のザリガニについて

現在国会で、外来生物改正法案が審議されており、アメリカザリガニについての規制が行われるのではと言われてしています。

アメリカザリガニが入った湿地や池は、他の動植物が壊滅的な打撃を受け、「死の池」に変わり果てます。

日本全国で、このザリガニ問題は深刻で国もその規制に動き出した形です。そんなザリガニへの餌付けは、明らかな自然破壊的迷惑行為です。

池へのパン屑の投棄はやめてください。